

連携協定に伴う 小型EVの公用車への 試行活用

諏訪市
ユーグループ(長野トヨタ自動車株式会社)



脱炭素社会実現への連携協定締結

2022年、諏訪市とユーグループ（長野トヨタ自動車株式会社）は包括連携協定を締結しました。脱炭素時代において、地方自治体は市民や事業者等の関係者をけん引する率先した取組が求められています。取組の手法は様々ですが、移動手段として活用している公用車の脱炭素化も必要な取組です。自動車販売を行うユーグループの知識やノウハウを導入し、効果的な公用車電動化含めた「ゼロカーボンドライブ」への取組拡大が期待されます。今回の取組はゼロカーボンドライブを推進するための取組となります。



公務での超小型EV試行活用

連携協定の取組の一環として、ユーグループ（長野トヨタ自動車(株)）から超小型EV「C-pod」を貸与いただき、実際に職員が公務に活用します。

試行活用概要



- 活用期間 : 令和5年10月11日～11月6日
- 使用車両 : C-pod（トヨタ自動車）1台
全長2,490mm×全幅1,290mm×全高1,550mm
最高速度60km/h（超小型モビリティ）
一充電走行距離150km
2人乗り
外部給電機能あり（1500W）
- 駐車場所 : 諏訪市役所本庁舎正面時計下付近
（夜間保管場所：車両棟内）
- 活用内容 :
・公務における移動
・駐車による展示
・災害用電源としての試行活用
（既存庁内システムで予約し活用）

EVに触れて知ることから応用活用へ

EVの普及率は未だに全体の1割にも達していません。ということはまだまだ認知も進んでいない、触れる機会が少ないということです。まずは多くの職員にEVへ触れてもらい認知度を向上させるとともに、今後の公用車電動化に向けた検討材料確保と共に、通常の移動手段以外の新たな可能性を探ります。この試行活用終了後にも、ゼロカーボンドライブ及びゼロカーボンシティ実現に向け、Uグループによる継続した支援を受けることで、取組のスピードアップと効果の最大化が期待されます

EVの認知



- ・ EVへの理解向上
- ・ 関係者へのPR
- ・ 身近なEV実現

最適活用



- ・ 超小型EVの特徴把握
- ・ 最適なEV導入手法
検討材料入手

応用活用



- ・ 災害時等電源活用の可能性
- ・ 公務利用以外での可能性